㈱ダイナムジャパンホールディングス

香港証券取引所メインボード（証券コード：06889）

目次

1. 香港証券取引所メインボード上場

2. 業界動向

3. 事業概要

4. 財務ハイライト

5. ＜参考資料＞（1）配当利回り表・カジノ上場会社6社の比較表

（2）ダイナム46年の軌跡

1、香港証券取引所メインボード上場

香港証券取引所メインボード上場

2012年8月、㈱ダイナムジャパンホールディングスは、
香港証券取引所メインボードに上場しました。

（写真右）
代表執行役社長
佐藤洋治

・香港証券取引所では、日本からの単独上場の「第1号」となります。
・パチンコホールオペレーター企業の上場は「世界初」となります。

香港の選択理由

①香港は「世界基準」によって評価されています。
従って、香港での上場は、㈱ダイナムジャパンホールディングスにとって
世界基準による評価を得られます。
②企業として将来の拡大を考えたとき、アジアへの進出が必然となります。
③香港は世界の3大金融センターのひとつであり、優秀な国際的金融マンが集積されています。人材と情報が集まっている香港は、とても魅力があります。

国際的な株主の多くの方々は、会社に対して次のことを期待しています。

① 未来の会社の成長、つまり未来投資を十分しているか？
を期待しています。

② 高配当を期待しています。

③ 株式市場において、いつでも買ったり売ったり出来るように、
株式の取引高の多さを期待しています。
そのためには株主数が多いことが必要です。

2、業界動向

＜出典＞
※「レジャー白書2012年」
※「矢野経済研究所/2011.12.21パチンコ産業に関する調査レポート」
※「レジャー白書を元に、エンタテインメントビジネス総合研究所が作成/2012.3.28パチンコ業界トレンド予測レポート」
※「警察庁/遊技場営業データ」

業界動向

パチンコ業界規模

◇2011年度/速報データ

売上規模→18兆8,960億円 ※「レジャー白書」
→29兆　874億円 ※「パチンコチェーンストア協会/類推値」
→24兆6,000億円 ※「ダイコクSIS白書公表値」

遊技人口→1,260万人 ※「レジャー白書」
→1,325万人 ※「エンタテインメントビジネス総合研究所」

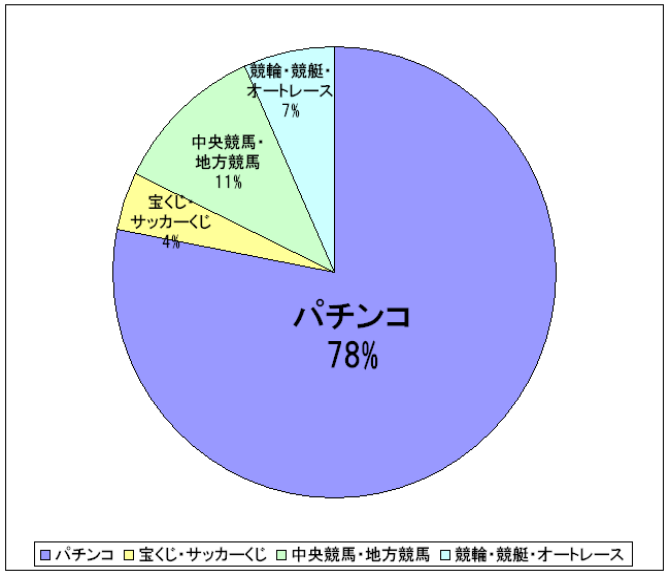
◇企業数→4,109社 ※「矢野経済研究所」
店舗数→12,323店舗 ※「警察庁」

1店舗、2店舗経営→3,031社（全体の73.8%） ※「矢野経済研究所」
20店舗以上経営→46社（全体の1.1%） ※「矢野経済研究所」

ゲーミング市場とパチンコ店産業 ※「エンタテインメントビジネス総合研究所」

パチンコ店の売上規模は、2003年の29.6兆円を境に、減少を続けています。しかしながら、パチンコ店市場を日本のゲーミング市場（公営賭博）に含めると、パチンコ店市場の全体に占める割合は78%（2010年）となり、日本のゲーミング活動のうち最も大きなシェアを誇り、第2位の中央競馬・地方競馬を、大幅に上回っています。

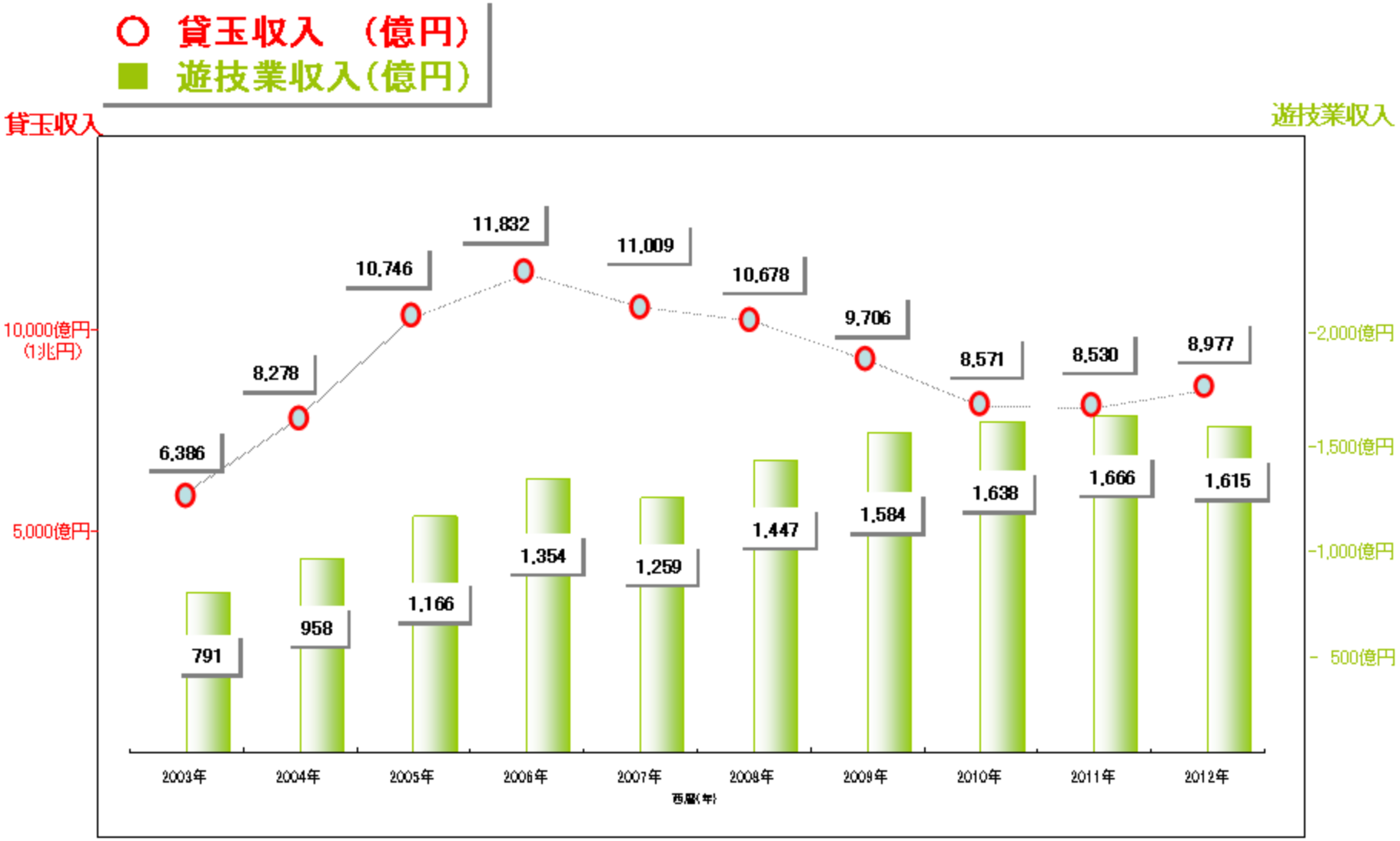
■ゲーミング市場の売上構成比率（2010年）



■ゲーミング市場規模の推移（単位：億円）

	パチンコ	宝くじ・サッカーくじ	中央競馬・地方競馬	競輪・競艇・オートレース	合計
2001	278,070	11,340	37,880	26,710	354,000
2002	292,250	11,280	36,280	24,490	364,300
2003	296,340	10,900	34,600	22,380	364,220
2004	294,860	10,900	33,280	20,460	359,500
2005	287,490	11,200	32,640	19,800	351,130
2006	274,550	11,070	31,920	19,360	336,900
2007	229,800	10,950	31,390	19,490	291,630
2008	217,160	11,370	31,350	19,100	278,980
2009	210,650	10,665	29,560	17,830	268,705
2010	193,800	10,168	27,760	16,680	248,408

ご参考　㈱ダイナムの直近１０ヵ年の推移

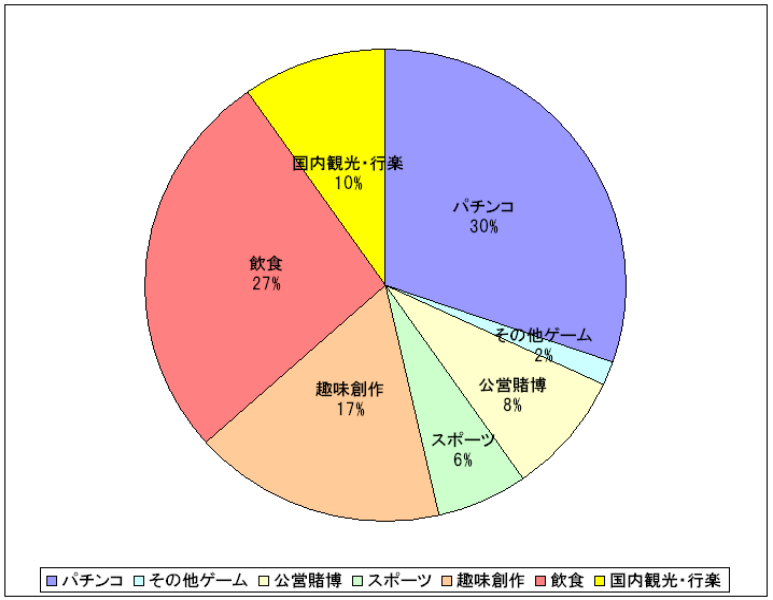


余暇市場とパチンコ店産業

※「エンタテインメントビジネス総合研究所」

2010年における余暇市場売上は、総額で64.3兆円、そのうちパチンコ店市場は19.4兆円でした。2010年はゲーミング市場の「78%」を占めたパチンコ市場だが、さらに大きい枠組みである余暇市場においても「30%」という、大きなシェアを維持しています。

■余暇市場の構成比率（2010年）



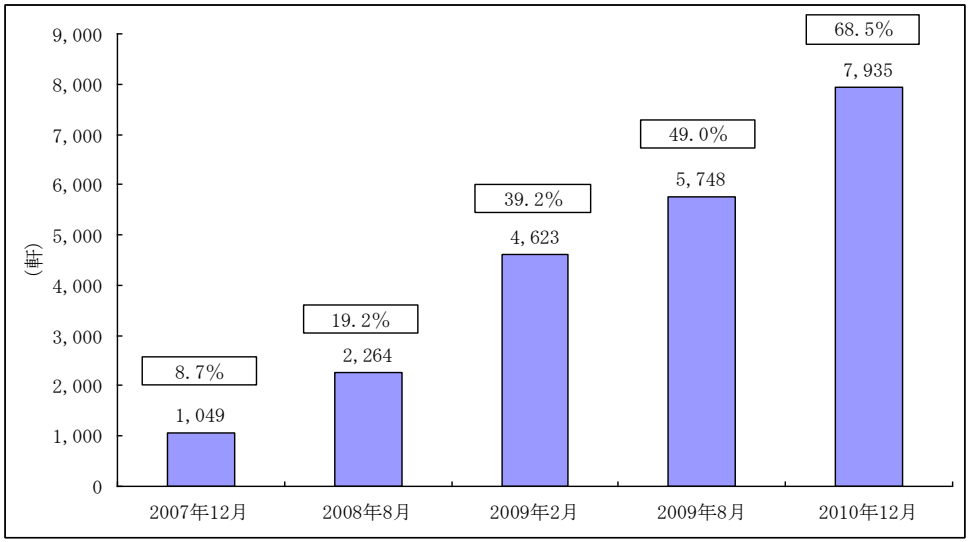
■2010年余暇市場規模（単位：億円）

パチンコ	その他ゲーム	公営賭博	スポーツ	趣味創作	飲食	国内観光・行楽	合計
193, 800	10, 720	53, 640	40, 150	108, 840	173, 660	61, 850	642, 660

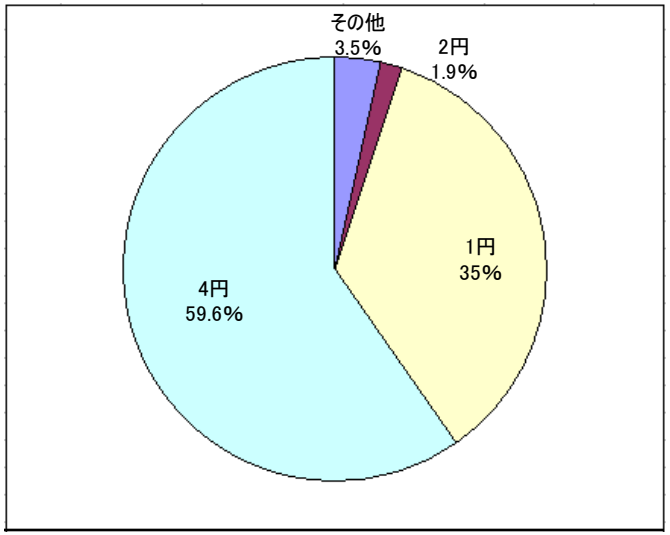
パチンコ機の低貸玉営業 ※「エンタテインメントビジネス総合研究所」

遊技人口が減少しているのは、射幸性が高まったことにより金銭的についていけなくなった遊技者が増加したためです。このような背景に伴い、新規遊技客の取り込みも狙う必要があります。そこで始めた低貸玉営業が低予算遊技者の受け皿となり、次第に全国に拡大していきました。
パチンコ低貸玉営業導入店舗数の推移を見ると、2007年12月全体の「8.7%」、3年後の2010年12月、全体の「68.5%」に増えています。

■パチンコ低貸玉営業導入店舗数の推移



■貸玉料金別パチンコ設置台数の割合（2012年3月）



3、事業概要

● ダイナムグループ企業理念

信頼と夢を育む百年の挑戦

● 5つの経営方針

1. 顧客第一主義　常にお客様を最優先に考え実践していきます
2. 情報開示　情報を開示し透明で公正な経営を実行していきます
3. チェーンストア経営　チェーンストア経営を貫き成長を継続していきます
4. 人材育成　人を育て人のエネルギーを結集していきます
5. 社会貢献　地域に必要な存在となり社会に貢献していきます

● 3つの行動規範

1. 法令・ルールを遵守し人に敬意をもって接します
2. 積極的な言動に努めチームワークを大切にします
3. 実態を現場で確認し数値で表現します

DYJH　グループ企業組織図（2013年2月現在）

株式会社ダイナムジャパンホールディングス

		店舗数
株式会社ダイナム	パチンコホール経営	349店
株式会社キャビンプラザ	パチンコホール経営	４店
大黒天株式会社	パチンコホール経営	２店
株式会社オークワジャパン	パチンコホール経営	３店
株式会社ダイナム土地建物	不動産管理、社宅物件の斡旋・仲介	
株式会社ダイナム情報処理	給与計算・会計業務の受託	
株式会社ダイナムPトレーディング	遊技台総合商社	
株式会社関東大同販売	遊技台販売	
株式会社ダイナムアド企画	販促広告企画・制作	
株式会社信頼の森	信頼の森グループ企業への商品、機械供給、教育等の業務支援	

店舗概要

（2013年2月現在）

ダイナム：176店舗

「既存店（ダイナム）」
高貸玉機が大部分を占め、ホールでの喫煙も可能です。

ゆったり館：141店舗

「ゆったり館」
主に低貸玉機を展開し、一般景品の品揃えがより充実しております。ホールでの喫煙も可能です。

信頼の森：41店舗

「信頼の森」
主に低貸玉機を展開し、一般景品の品揃えがより充実しておりおります。加えて、ホール内は、指定の喫煙エリアを除いて全面禁煙であり、お客様がくつろげる休憩室が設置されています。

チェーンストア経営戦略（大衆娯楽を追求する）

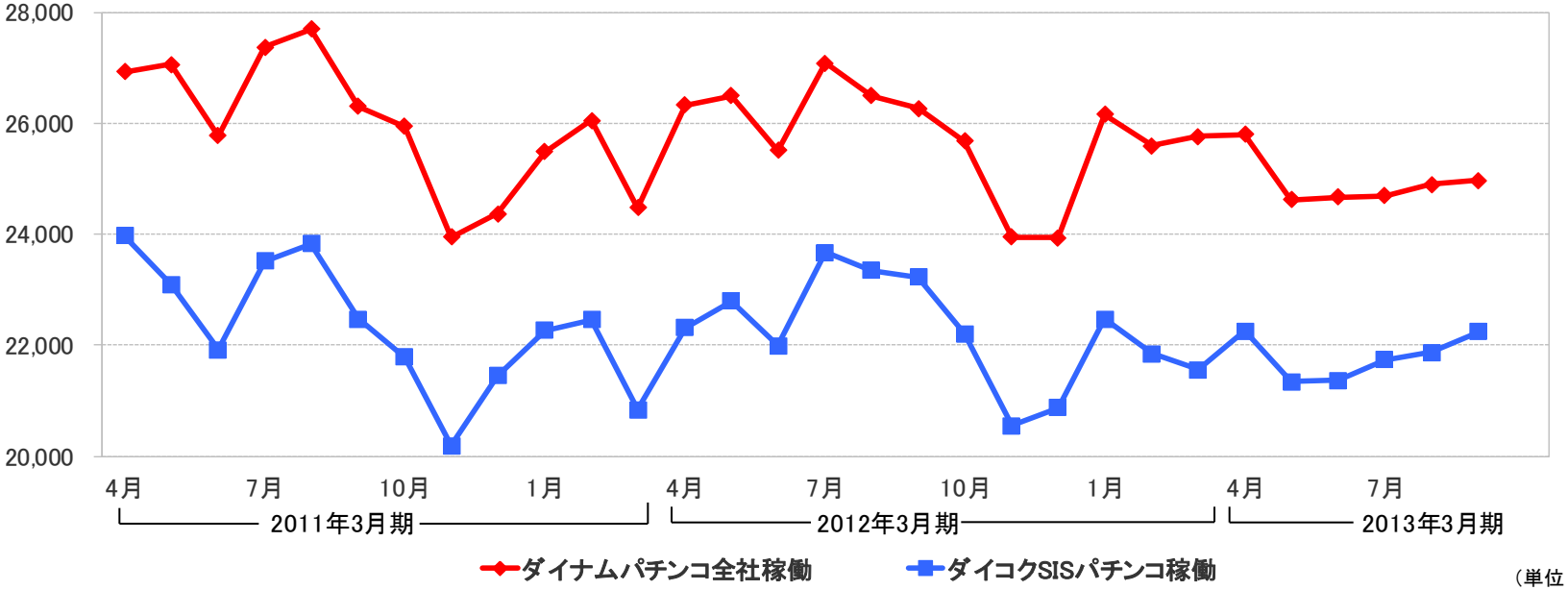
ダイナムグループは、チェーンストア経営に基づく競合他社が真似できない、徹底した数字による店舗管理とローコスト運営を一貫して推し進めてきました。
1985年、パチンコに関する法令の改正が行われ、他県へのパチンコホールの進出が容易となりました。これにより、全国的なチェーン展開が可能となりました。
昨今でも、競合他社の大手企業でさえ都会の高貸玉（パチンコ4円）ユーザー対象のビジネス展開をしていますが、長続きはしないと推測されます。
異業種で言うと、「量販店」等の郊外展開が同様と言えます。

パチンコの稼働推移

p ダイコクSISデータとのパチンコ稼働比較

l ダイナム稼働はSIS稼働を約2,700個上回り着地

（単位：個）



（単位：個）

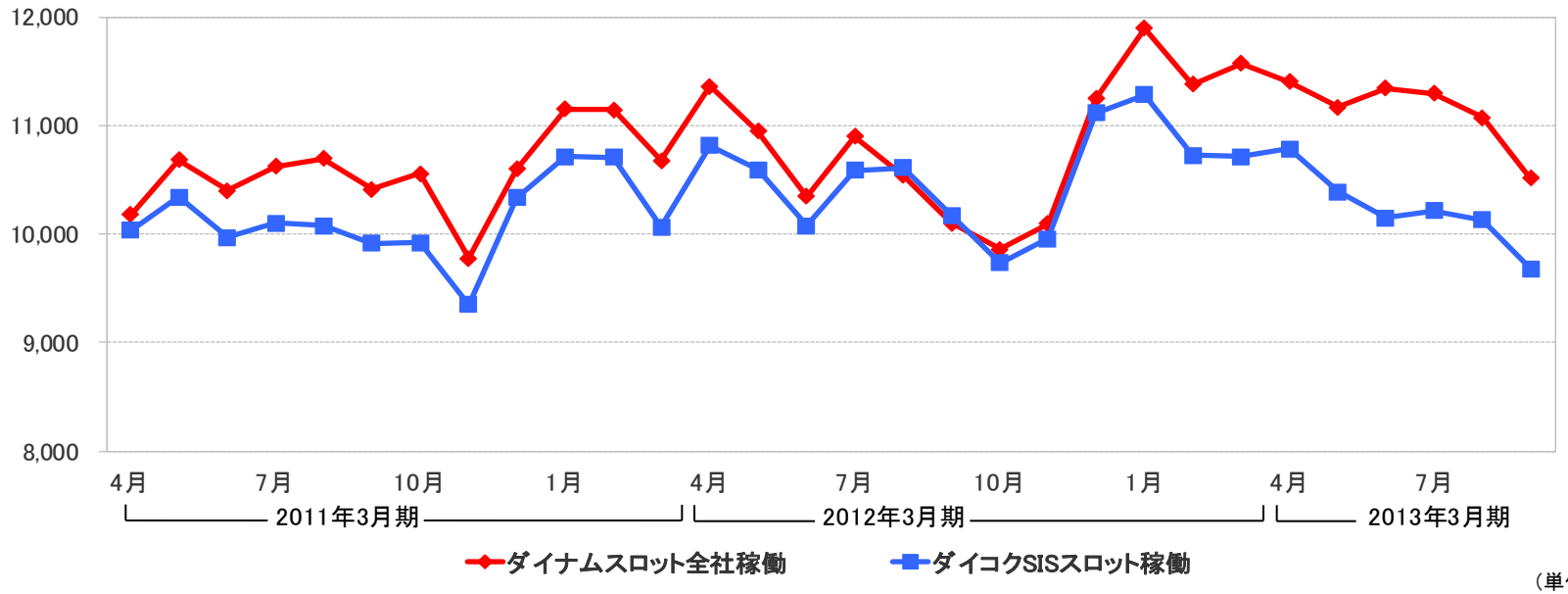
パチンコ		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
11/3月期	ダイナム	26,923	27,051	25,768	27,368	27,700	26,301	25,937	23,946	24,361	25,486	26,053	24,477
	SIS	23,970	23,090	21,910	23,510	23,830	22,470	21,780	20,190	21,450	22,260	22,460	20,840
12/3月期	ダイナム	26,324	26,490	25,507	27,084	26,497	26,270	26,126	23,944	23,933	26,157	25,590	25,762
	SIS	22,310	22,790	21,990	23,670	23,350	23,230	22,533	20,550	20,870	22,470	21,840	21,560
13/3月期	ダイナム	25,791	24,617	24,666	24,692	24,901	24,966						
	SIS	22,250	21,340	21,360	21,740	21,870	22,240						

スロットの稼働推移

p ダイコクSISデータとのスロット稼働比較

- ダイナムスロット稼働は前年同期とほぼ横ばいで推移し、SIS稼働を約800枚上回り着地

（単位：枚）



（単位：枚）

スロット		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
11/3月期	ダイナム	10,175	10,684	10,397	10,622	10,695	10,412	10,554	9,775	10,598	11,152	11,146	10,674
	SIS	10,037	10,336	9,966	10,096	10,071	9,913	9,914	9,346	10,332	10,714	10,709	10,063
12/3月期	ダイナム	11,363	10,949	10,348	10,898	10,538	10,100	9,832	10,096	11,248	11,893	11,378	11,568
	SIS	10,816	10,592	10,076	10,584	10,614	10,171	9,533	9,956	11,116	11,283	10,728	10,719
13/3月期	ダイナム	11,402	11,167	11,340	11,294	11,072	10,514						
	SIS	10,786	10,388	10,146	10,215	10,130	9,677						

ダイナムグループの強い点

ダイナムジャパンホールディングス

1. 行政がパチンコ業界の将来に対しての考える方向に一番近い企業姿勢
2. パチンコ業界で最も金融信用が高い企業
3. ローコストオペレーションを継続して進めてきた
4. 内部統制の強化
5. 人材の厚みが業界でトップと言える
6. 業界の統合化において優位に立つ

①行政がパチンコ業界の将来に対しての考える方向に一番近い企業姿勢

パチンコの監督官庁である警察庁は、パチンコを時間消費型レジャーとして定着させたいと考えています。
その方向に沿ってパチンコ業界は、2008年より「低貸玉営業」を導入してきました。
2012年3月現在、業界はパチンコ機械の約35%まで「低貸玉営業」を拡大してきましたが、ダイナムグループでは、同時期すでに55%まで「低貸玉営業」を行っています。
将来におけるビジネスを先取りしています。

ダイナムグループでは、異なる客層を意識した「3ブランド」にて展開しています。（2013年2月現在 358店舗）

②パチンコ業界で最も金融信用が高い企業

ダイナムグループは、ビジネスを開始して以来、一度も脱税を考えたことはありません。
出来るだけ多くの税金を払い、その後の利益を「内部留保」に努めてきました。その結果、金融機関の信用が高くなりました。

現在では、「みずほ銀行」「三井住友銀行」に「DYJH株」を所有して頂いています。
さらに、現在、グループ全体で400億円のコミットメントラインの提供を受けています。

2012年9月末（中間期）純資産　1,179億8千7百万円
有利子負債　153億3千9百万円

③ローコストオペレーションを継続して進めてきた

各店舗におけるローコストオペレーションに他のどの企業よりも努力してきました。
（1）ディストリビューションセンター（DCセンター）
（2）機械管理システム
（3）機械販売のネットオークション等
に代表される他社にはないシステムを構築しています。
さらに、各店舗における省力化のためのパーソナルシステムの導入も一番進んでいます。

ダイナムグループでは、「チェーンストア理論」に基づくコスト削減と経営効率の改善を実現しています。

④内部統制の強化

パチンコオペレーターは、かなり細かい法令や規制の中におかれています。
各店舗でキチンと法令が守られているか、又、決められたとおりの行動が
とられているかのチェック体制は、業界で一番と考えています。

そのため、法務部11名、監査部41名、リスク管理部28名、
計80名の体制で各店舗をチェックしています。

この80名体制は他社ではありません。

⑤人材の厚みが業界でトップと言える

ダイナムグループは、1989年より大卒の採用を始めてきました。
約23年間、毎年200名～300名の大卒を採用し、教育してきました。

教育施設は、東西に2箇所あり、それぞれ一度に300名が何日間でも宿泊して教育を受けられます。これは業界の他社にはないことです。
そして、それらの大卒の社員が全国の店舗で責任者として勤務しています。

⑥業界の統合化において優位に立つ

パチンコホールオペレーター企業の上位10社のシェアーは、合計でパチンコ店の数においてわずか8.7%です。
そのうちダイナムグループは、わずか2.73%です。
極めて統合化が遅れた業界です。
その理由のひとつは、ホールオペレーター企業に上場企業が一社もなかったことです。
上場企業が出ることにより統合化が促進されることは明らかです。

その意味でダイナムグループは、最も優位な立場にあります。

1,000店舗、業界シェア10%へ

2013年2月現在
　ダイナムグループ店舗数　計358店舗

10年後、
　ダイナムグループは、
　新規出店および経営統合を含めて

「1,000店舗」を目標とします。

４、財務ハイライト（2013年3月期中間決算概況）

【 連結損益計算書(IFRS)の概要 】

（自2012年4月1日　至2012年9月30日）

（単位：百万円）

	当中間期 (2012/9)	前中間期 (2011/9)	増減	増減の主な要因
遊技業収入	**82,060**	80,296	1,764	
自販機手数料等収入	**3,029**	3,588	△559	
店舗営業費用	**66,571**	69,052	△2,481	遊技台購入費の減少 △799　減価償却費の減少 △284 震災損失の解消 △961
一般管理費	**1,759**	625	1,134	上場関連費用の増加 649
その他営業費用	**1,238**	311	927	固定資産の減損損失の増加 682
営業利益	**15,521**	13,896	1,625	
金融費用	**393**	1,287	△894	シンジケートローン手数料の減少 △580 金利費用の減少 △314
税引前中間利益	**15,128**	12,609	2,519	
税金費用	**5,804**	5,147	657	
中間利益	**9,324**	7,462	1,862	

≪ご参考≫

貸玉収入	**467,263**	444,584	22,679	店舗数の増加（「ゆったり館」前年同期比 +3店舗） 「ゆったり館」、「信頼の森」の1店舗当たり貸玉収入の増加
景品出庫額	**385,203**	364,288	20,915	
遊技業収入	**82,060**	80,296	1,764	

（注）前中間期の財務諸表は、DYJHグループが2011.4.1から存在したものと仮想して作成しております。

【連結貸借対照表(IFRS)の概要】

(単位:百万円)

	当中間期末 (2012/9)	前期末 (2012/3)	増減	増減の主な要因
流動資産	50,936	36,871	14,065	現金・預金の増加 +13,378
固定資産	119,960	119,590	370	
総資産	170,896	156,461	14,435	
流動負債	31,384	33,384	△2,000	短期借入金の減少 △270 未払費用その他の減少 △1,050
固定負債	21,525	29,603	△8,078	長期借入金の減少 △7,628
資本金	15,000	5,000	10,000	上場時の公募増資 +10,000
剰余金	102,987	88,474	14,513	上場時の公募増資 +5,227 利益剰余金 +9,324
純資産	117,987	93,474	24,513	

【連結キャッシュ・フロー計算書（IFRS）の概要】

（単位：百万円）

	当中間期 （2012/9）	前中間期 （2011/9）	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,023	12,298	725
税引前中間純利益	15,128	12,609	2,519
減価償却費	5,037	5,311	△274
法人税支払額（△）	△6,133	△6,793	660
その他	△1,009	1,171	△ 2,180
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,035	14,115	△20,150
固定資産の取得による支出（△）	△6,026	△4,579	△1,447
関連会社に対する債権の減少等	－	18,601	△18,601
その他	△9	93	△102
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,609	△23,515	30,124
銀行借入金の増加額等	8,000	21,000	△13,000
銀行借入金の返済額等（△）	△15,917	△30,536	14,619
新株の発行	15,884	－	15,884
その他	△1,358	△13,979	12,621
為替換算調整額	△219	－	△219
キャッシュ・フローの合計額	13,378	2,898	10,480
現金及び預金の中間期末残高	41,902	20,358	21,544

【 有利子負債】

（単位：百万円）

	当中間期末 (2012/9)	
短 期 借 入 金	1,384	0.8%
長 期 借 入 金	13,955	8.2%
有利子負債 合計	**15,339**	**9.0%**
総　資　産	170,896	100.0%

【 自己資本比率】

（単位：百万円）

	当中間期末（2012/9）	比率	前期末（2012/3）	比率
資　本　金	15,000	8.8%	5,000	3.2%
剰　余　金	102,987	60.2%	88,474	56.5%
純 資 産 合 計	117,987	69.0%	93,474	59.7%
総　資　産	170,896	100.0%	156,461	100.0%

1.【 配当方針 】

国際的な高額配当を予定しています。当社は、2012年9月中間と2013年3月期末の合計で当社連結利益（IFRSに基づいて算出）の45～50%の配当を実施できるよう努力する所存です。

2.【 当中間期の配当 】

（1）1株当たり配当金：	5.75円
（2）配当総額：	4,271百万円
（3）配当支払日：	2012年12月17日

5、＜参考資料＞

（1）配当利回り表・カジノ上場会社6社の比較表

配当利回り表（2012年3月末：決算数字を参考に計算）

A	既存株主分 31,542,518株×20倍 = 630,850,360株	F	1株利益 D÷C = 21.4円
B	公募株数 5,600,000株×20倍 = 112,000,000株	G	45%の配当 D×0.45 = 7,154,100円
C	発行株式総数 A＋B = 742,850,360株	H	50%の配当 D×0.50 = 7,949,000円
D	2012年3月末純利益 15,898,000千円	I	1株当り配当金（45%配当） H÷C = 9.63円
E	2012年3月末純資産 93,474,000千円	J	1株当り配当金（50%配当） I÷C = 10.70円

（1HK＄ ＝ 11 円で計算）

	株価	13.00HK$	13.50HK$	14.00HK$	14.50HK$	15.00HK$	15.50HK$	16.00HK$
K	株価（日本円） 1HKドル=11円	143.00	148.50	154.00	159.50	165.00	170.50	176.00
L	PER （K÷F）倍	6.68	6.92	7.20	7.45	7.71	7.97	8.22
M	45%イールド （I÷K）%	6.73	6.48	6.25	6.04	5.84	5.65	5.47
N	50%イールド （J÷K）%	7.48	7.21	6.95	6.71	6.48	6.28	6.08

カジノ上場会社6社の比較表

会社名	A. 株価（HKD）（2012/12/12終値）	B. PER A/D	C. イールド(%) E/A	D. 1株当り利益（香港ドル）	E. 1株当り配当金（香港ドル）	配当日
MGM China Holdings Ltd. (2282)	13.96	16.18	5.85	0.86	0.82	20/3/2012
Sands China Ltd. (1928)	33.55	30.70	2.89	1.16	0.58	22/6/2012
Wynn Macau Ltd. (1128)	20.70	18.16	5.80	1.14	1.20	19/12/2011
SJM Holdings (0880)	17.32	17.97	4.79	0.96	0.83	19/9/2012
NagaCorp Ltd. (3918)	4.75	13.84	5.07	0.34	0.24	28/9/2012
Melco International Develop. (0200)	8.74	38.33	0.20	0.23	0.02	19/6/2012

会社名	A. 株価（HKD）（2012/11/28終値）	B. PER A/D	C. イールド(%) E/A	D. 1株当り利益（香港ドル）	E. 1株当り配当金（香港ドル）	配当日
Dynam Japan Holdings Co., Ltd.(6889)	14.00	7.20	6.25～6.95	1.95	0.88～0.97	6月,12月 年2回

５、＜参考資料＞

（２）ダイナム４６年の軌跡

ダイナム 46年の軌跡

単位：百万円

期	年	資本金	純資産	総資産	店舗数	機械台数	売上	経常利益	社員数	パート数	合計（人）	新卒（人）	特記事項
4期	1971年3月末(S46)	2	28	108	2	547	376	40					(67.7月 亀有店、金町北口店開店)
5期	1972年3月末(S47)	8	59	93	2	547	406	43					
6期	1973年3月末(S48)	8	76	226	2	547	461	30					
7期	1974年3月末(S49)	8	136	367	2	547	659	109					
8期	1975年3月末(S50)	8	155	410	2	547	731	44					
9期	1976年3月末(S51)	8	173	598	2	547	833	31					
10期	1977年3月末(S52)	8	188	599	2	547	796	24					
11期	1978年3月末(S53)	8	195	577	2	547	844	12					
12期	1979年3月末(S54)	68	307	521	2	547	817	100					
13期	1980年3月末(S55)	68	337	487	2	547	739	58					
14期	1981年3月末(S56)	68	360	784	2	547	1,066	46					
15期	1982年3月末(S57)	92	476	1,193	2	547	2,464	189					
16期	1983年3月末(S58)	92	659	1,388	2	547	3,121	393					82.11月 ｻﾝﾃｨﾗﾌﾞ(現 日本ﾋｭｳﾏｯﾌﾟ)設立
17期	1984年3月末(S59)	110	760	2,162	4	801	3,510	194					83.12月 北越谷店開店 84.2月 綾瀬東口店開店
18期	1985年3月末(S60)	132	816	3,218	6	1,323	7,296	126					84.10月 戸ケ崎店開店、84.2月 三郷配送ｾﾝﾀｰ完成 85.2月 新風適法 施行、 85.2月 上彦名店開店
19期	1986年3月末(S61)	158	1,013	4,314	9	2,064	10,028	422					85.9月 綾瀬西口店開店 85.12月 金町Ⅱ店開店 86.2月 西日暮里店開店
20期	1987年3月末(S62)	190	1,528	5,068	9	2,325	12,514	1,112					
21期	1988年3月末(S63)	228	2,048	6,893	9	2,325	14,464	1,263	207	36	243		87.11月 CI導入 社名ダイナムへ 本部西日暮里移転 87.12月 ﾘｯﾁｵ(現 ﾀﾞｲﾅﾑﾎｰﾙﾃﾞｨﾝｸﾞｽ)設立
22期	1989年3月末(H 1)	254	2,337	8,828	14	3,774	20,128	646	305	55	360		88.10月 日本ﾚｼﾞｬｰｶｰﾄﾞｼｽﾃﾑ設立 88.平和 株式公開
23期	1990年3月末(H 2)	671	3,006	12,712	21	5,410	29,505	664	386	154	540	10	89.4月 新卒第1期入社 89.7月 (社)日遊協 発足 89.8月 日本ｹﾞｰﾑｶｰﾄﾞ設立 89.10月 新発田Ⅰ店開店
24期	1991年3月末(H 3)	700	3,355	17,780	26	6,667	39,022	1,005	405	121	526	11	90.3月 J-NET設立 90.6月 パチンコ物語(松竹)公開
25期	1992年3月末(H 4)	1,360	4,899	22,175	30	8,006	51,456	1,408	437	317	754	5	91.4月 ﾀﾞｲﾅﾐｯｸ･ﾋﾞｼﾞﾈｽ･ｶﾚｯｼﾞ設立
26期	1993年3月末(H 5)	1,500	5,390	23,850	33	8,962	60,982	1,563	514	380	894	6	
27期	1994年3月末(H 6)	1,500	6,023	28,878	36	10,051	74,859	1,721	528	452	980	10	93.6月 CR機 花満開 登場 93.10月 ペガサスクラブ加盟(武川先生来社)
28期	1995年3月末(H 7)	1,500	6,749	33,378	39	11,364	88,482	1,783	482	627	1,109	37	94.8月 江別店開店(木造店舗1号)
29期	1996年3月末(H 8)	1,500	7,098	36,878	45	14,184	113,094	570	499	914	1,413	92	
30期	1997年3月末(H 9)	2,000	8,405	40,878	54	18,491	188,374	3,148	708	1,373	2,081	83	96.12月 北海道統括事務所開設
31期	1998年3月末(H10)	2,000	10,779	47,140	61	23,352	255,864	5,502	875	1,888	2,763	70	97.7月 第1回アナリスト説明会開催 97.9月 明志塾スタート 97.12月 格付取得
32期	1999年3月末(H11)	2,000	14,513	54,208	68	27,385	334,668	9,191	1,074	2,177	3,251	111	98.4月 ﾀﾞｲﾅﾑﾕﾆｵﾝ結成 98.10月 ﾀﾞｲﾅﾑｾﾐﾅｰ開催 99.3月 ﾍﾟｶﾞｻｽのﾎｰﾙ業のﾁｪｰﾝｽﾄｱ化決起ｾﾐﾅｰ
33期	2000年3月末(H12)	2,000	19,840	63,493	81	34,323	390,598	9,620	1,361	1,668	3,029	239	
34期	2001年3月末(H13)	2,000	25,484	76,389	96	42,374	455,404	11,813	1,725	1,633	3,358	291	01.3月 天麗301完成
35期	2002年3月末(H14)	2,500	32,486	88,075	118	53,761	542,004	14,367	2,222	1,898	4,120	307	01.5月 新本社ﾋﾞﾙ完成 01.8月 ﾀﾞｲﾅﾑ100店舗達成 02.3月 PCSA設立
36期	2003年3月末(H15)	5,000	40,257	105,761	152	70,355	638,610	16,182	2,368	2,297	4,665	春 403 秋 40	02.9月 天麗開増設
37期	2004年3月末(H16)	5,000	46,323	122,706	193	89,664	827,779	12,093	2,963	3,078	6,041	春 441 秋 28	03.4月 ﾀﾞｲﾅﾑ綜合投資設立 03.11月 ﾀﾞｲﾅﾑ綜合投資ﾋﾞﾙ完成
38期	2005年3月末(H17)	5,000	51,446	139,455	233	108,851	1,074,620	14,224	3,423	4,313	7,736	春 538 秋 29	04.8月 ﾏﾘﾝﾋﾟｱ豊浦完成 04.6月 ﾀﾞｲﾅﾑ200店舗達成 05.2月 PTB設立
39期	2006年3月末(H18)	5,000	56,392	152,950	272	128,221	1,183,209	13,053	3,727	4,846	8,573	春 592 秋 14	
40期	2007年3月末(H19)	5,000	52,785	157,009	287	135,612	1,100,901	923	3,722	4,469	8,191	春 392 秋 22	06.10月 ﾀﾞｲﾅﾑﾎｰﾙﾃﾞｨﾝｸﾞｽの完全子会社へ 06.12月 江別店新業態変更(新業態1号)
41期	2008年3月末(H20)	5,000	56,183	152,268	280	125,921	1,067,831	12,424	3,656	5,339	8,995	春 304 秋 0	41期(2007年)大改革 08.3月 新企業理念制定、新長期経営計画作成
42期	2009年3月末(H21)	5,000	61,173	157,894	302	133,145	970,620	32,567	3,592	6,007	9,599	春 107 秋 14	09.3月 信頼の森第1号店 秋田たかのす店開店 同時に300店舗達成
43期	2010年3月末(H22)	5,000	66,682	145,970	325	142,870	857,139	32,102	3,957	6,250	10,207	春 417 秋 18	信頼の森新規出店数22店舗
44期	2011年3月末(H23)	5,000	76,440	143,732	342	150,595	853,030	27,368	4,258	5,858	10,116	春 524 秋 0	信頼の森新規出店数17店舗
45期	2012年3月末(H24)	5,000	81,747	135,601	346	153,551	897,653	29,324	4,130	5,493	9,623	春 257 秋 0	新規出店数4店舗(ゆったり館2、信頼の森2)
46期	2012年9月末(H25)	5,000	75,776	120,888	347	154,580	458,875	16,372	4,416	5,146	9,562	春 230 秋 0	新規出店数1店舗(ゆったり館1)

お手許の資料
39ページを
ご覧下さい

ホームページでの情報開示

㈱ダイナムジャパンホールディングス

→ http://www.dyjh.co.jp/index.html

㈱ダイナム

→ http://www.dynam.jp/top/index.html

免責事項と著作権について

この資料に掲載されている、今後の予測・戦略等に関する情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生などにより、本資料掲載の見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社と致しましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、開示に努めて参りますが、本資料掲載の見通しのみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えなられるようお願い致します。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようにお願い致します。

●お問合せ

責任者: ㈱ダイナムジャパンホールディングス　執行役　岡安 静夫
担当者: ㈱ダイナムジャパンホールディングス　企画調整グループ　菊地 俊治

連絡先: TEL 03-5615-1222　FAX 03-5615-1776